

活動報告書

1 団体名

特定非営利活動法人 コンペイトウ企画

2 活動内容

雑誌の制作（取材、撮影、デザイン）

「福祉×暮らし」をテーマとするインクルーシブタウン情報誌『KOMPEITO（コンペイトー）』創刊に向け、取材・撮影・編集・印刷などを行った。

3 活動期間

令和6年8月1日～令和7年3月27日

4 活動実施内容

2024年8月頃：障害者向けオンラインライタースクール開校（もくもくライタースクール）

2024年10月上旬：フリーペーパー「KOMPEITO（コンペイトー）」編集会議

2024年10～2025年1月：取材

2024年12～2025年2月：編集・校正作業

2025年3月下旬：入稿・印刷

（4月よりフリーペーパー発行・設置・配布）

- 取材件数と場所：大分・別府地域の福祉事業所、企業、観光施設など計11施設を取材。
- 取材方法：対面取材10件、オンライン取材1件を実施。取材先の一部ではスロープ設置など具体的なバリアフリー化が進んだ。
- 当事者ライターの人数：3名が参加。それぞれ興味のある分野を選んで取材活動を行い、現場やオンラインを通じて「当事者視点」を記事に反映した。

本誌の編集方針として「地域に根ざした多様な声を取り上げる」ことを重視し、当事者自身の目線を生かした記事構成を心がけた。さらに、ライター本人と取材先の意見交換を深めるため、事前に質問事項や移動経路などの情報共有を徹底した。

5 活動の成果

1) 当事者ライターの社会参加

- 当事者ライター3名のうち1名は、これまで一般企業との接点がほとんどなかったが、取材を通じて対話することが出来た。取材先で「SNS用ライティングのお試し業務」の依頼を受ける成果もあり、活動後も新たな社会参加のきっかけが生まれた。

2) 配慮への意識向上

- ・ 車いすユーザーのライターが訪問する際、取材先企業がスロープの設置など、バリアフリー化に着手。障害のあるライターが実際に現地に行くことで、社内のバリアフリーへの関心が高まった。

3) 当事者視点によるアドバイス

- ・ 住宅メーカーへの取材の際、車いすでの移動を前提とした空間デザイン（間取りや家具配置など）に関する具体的な提案がなされた。今後の製品開発やサービス向上につながる可能性が示された。

4) 雑誌完成後の配布・発信計画

2025年4月頃：オウンドメディアサイト「arica(ありか)」開設

2025年4月～：設置・配布 本誌『KOMPEITO（コンペイトー）』は、「障害のある人たちが地域で共に暮らしている」姿を広く発信し、読者が気づきや学びを得られる機会を提供することを目的とする

- ・ 発行部数：初回1,000部。
- ・ 配布先：別府市内の図書館、市役所、観光案内所、福祉事業所 約10カ所、協力企業5社・飲食店など5カ所の店頭で無料配布。さらに、店頭に置いてくれるお店を探す。
- ・ オンライン公開：PDF版をWeb上で閲覧できるよう準備し、SNS（Twitter/Facebook/Instagram）でも告知を行う。

6 反省点や今後の目標

- ・ 反省点：
 - 当初予定していたライターが、体調の都合でやむを得ず取材を辞退することになったため、急遽他のライターに取材・執筆を依頼することとなりスケジュールが押してしまい配布まで至らなかった。今後は取材先との連絡調整を早めに行い、リスケジュール時の対応方針を明確にする。
- ・ 今後の目標：
 - 雑誌の定期刊行（年2回）に向け、協賛企業や市民からの寄付を募り、次年度以降の財政基盤を強化したい。
 - 取材経験を通じて、当事者ライターがさらなるスキルアップを図れるよう、オンライン講座や勉強会も開催する。